



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社パルマ
コード番号 3461 URL <https://www.palma.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-3234-0358

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	998	1.5	16		20		2	
2023年9月期第2四半期	983	15.7	11		11		10	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	0.36	0.36
2023年9月期第2四半期	1.53	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	3,632	2,259	62.2
2023年9月期	3,643	2,290	62.8

(参考)自己資本 2024年9月期第2四半期 2,258百万円 2023年9月期 2,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		5.00	5.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,476	47.7	265	57.7	245	40.0	147	32.4	21.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	6,752,793 株	2023年9月期	6,752,793 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	348 株	2023年9月期	348 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	6,752,445 株	2023年9月期2Q	6,752,445 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引締め、中国経済の先行き不安、中東情勢の緊迫化等の懸念要因がみられたものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復の動きが続きました。このような状況の中、当社は、ビジネスソリューションサービス（セルフストレージ（トランクルーム）賃料債務保証付きBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）・ITソリューションサービス等）の受託伸長と、ターンキーソリューションサービスにおけるトランクルーム施設の投資開発の推進及び運営施設の稼働向上に加え、既存サービスノウハウを活かした新サービスの開発・展開に向けた活動を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は998,667千円（前年同四半期比1.5%増）となりました。損益面では、営業利益は16,463千円（前年同四半期は11,534千円の営業損失）、経常利益は20,610千円（前年同四半期は11,353千円の経常損失）、四半期純利益は2,421千円（前年同四半期は10,342千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当第2四半期累計期間は、堅調なセルフストレージの利用動向を背景に、非対面・非接触によるオペレーション環境へのシフトや利用料決済手段の拡張に向けたソリューションとして、賃料債務保証付きBPOサービスやWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入がセルフストレージ事業者を中心に伸長、当第2四半期累計期間の本サービス新規契約件数は18,015件（前年同四半期比4.4%増）となり、当第2四半期会計期間末時点の主力サービスの賃料債務保証付きBPOサービス受託残高は127,871件（前期末比2.2%増）となりました。

さらに、資本提携先の日本郵政キャピタル株式会社が属する日本郵政グループ企業の日本郵便株式会社が八幡西郵便局（福岡県）で試行するセルフストレージ事業向けに、セルフストレージ開発を実施し、運営関連サービスの提供を3月末に開始するなど、新規事業参入者や既存事業者からの新規提携も着実に進めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は675,109千円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益は219,785千円（同20.5%増）となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当第2四半期累計期間は、コンテナ型トランクルームの投資開発を推進、東日本を中心に14施設の開発投資を進めており、うち7施設が3月末までに運営稼働を始めております。

さらに、これまで多数の取組により培った施設開発・運営ノウハウを活かした「物件診断・マーケティング・事業プラン提案⇒施設工事」と施設開業までのワンストップサービスを本格着手、セルフストレージ事業者・投資会社の新規出店・増床ニーズに対するソリューションとしてサービス提供を実施いたしました。

また、集客オペレーションや利用需要動向を勘案した賃料設定の見直し等により、施設の稼働向上が継続し、運営施設の賃料収入が前年同四半期比9.8%増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は323,557千円（前年同四半期比19.9%減）、営業損失は125,370千円（前年同四半期は116,447千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて29,796千円減少し、3,415,617千円となりました。これは主に売掛金が66,559千円、販売用不動産が12,407千円、仕掛販売用不動産が80,276千円、求償債権が92,773千円増加する一方で、棚卸資産の仕入れや法人税等の納付等により現金及び預金が215,964千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて18,140千円増加し、216,515千円となりました。これは主に繰延税金資産が20,080千円増加する一方で、減損の計上等により関係会社株式が4,773千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて11,656千円減少し、3,632,132千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前事業年度末と比べて37,185千円増加し、704,048千円となりました。これは主に短期借入金が27,000千円、未払金が38,204千円、契約負債が11,518千円増加する一方で、未払法人税等が21,492千円、未払消費税等が18,803千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて17,502千円減少し、668,439千円となりました。これは長期借入金が17,502千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて19,683千円増加し、1,372,487千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前事業年度末と比べて31,339千円減少し、2,259,645千円となりました。これは主に、配当金の支払33,762千円及び四半期純利益2,421千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては62.2%となりました。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、2,443,617千円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は186,638千円（前年同期に使用した資金は490,999千円）となりました。これは主に税引前四半期純利益10,643千円、棚卸資産の増加102,623千円、売上債権の増加66,559千円、求償債権の増加92,773千円、貸倒引当金の増加73,604千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,105千円（前年同期に使用した資金は44,485千円）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入9,348千円、関係会社株式の取得による支出5,193千円、無形固定資産の取得による支出5,225千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は24,221千円（前年同期に獲得した資金は19,534千円）となりました。これは長期借入れによる収入150,000千円、短期借入金の純増額27,000千円があった一方で、配当金の支払額33,719千円、長期借入金の返済による支出167,502千円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,699,589	2,483,624
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	133,145	199,704
求償債権	313,382	406,155
販売用不動産	—	12,407
仕掛販売用不動産	361,574	441,851
その他	74,079	81,835
貸倒引当金	△137,708	△211,312
流動資産合計	3,445,413	3,415,617
固定資産		
有形固定資産	42,886	40,291
無形固定資産	15,528	17,492
投資その他の資産	139,960	158,731
固定資産合計	198,375	216,515
資産合計	3,643,789	3,632,132
負債の部		
流動負債		
短期借入金	27,000	54,000
1年内返済予定の長期借入金	300,004	300,004
未払法人税等	56,265	34,772
契約負債	117,521	129,040
その他	166,072	186,231
流動負債合計	666,863	704,048
固定負債		
長期借入金	676,041	658,539
その他	9,900	9,900
固定負債合計	685,941	668,439
負債合計	1,352,804	1,372,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,918	599,918
資本剰余金	510,367	510,367
利益剰余金	1,179,975	1,148,634
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,290,088	2,258,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△4
評価・換算差額等合計	△5	△4
新株予約権	902	902
純資産合計	2,290,984	2,259,645
負債純資産合計	3,643,789	3,632,132

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	983,765	998,667
売上原価	635,006	605,439
売上総利益	348,759	393,227
販売費及び一般管理費	360,294	376,764
営業利益又は営業損失(△)	△11,534	16,463
営業外収益		
受取利息	15	13
投資有価証券売却益	5,514	9,348
その他	138	125
営業外収益合計	5,668	9,487
営業外費用		
支払利息	5,487	5,338
その他	—	1
営業外費用合計	5,487	5,339
経常利益又は経常損失(△)	△11,353	20,610
特別損失		
関係会社株式評価損	—	9,967
特別損失合計	—	9,967
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△11,353	10,643
法人税、住民税及び事業税	10,387	28,302
法人税等調整額	△11,399	△20,080
法人税等合計	△1,011	8,222
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,342	2,421

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△11,353	10,643
減価償却費	8,567	6,123
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	49,176	73,604
受取利息及び受取配当金	△15	△13
支払利息	5,487	5,338
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,514	△9,348
関係会社株式評価損	—	9,967
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,570	△66,559
求償債権の増減額 (△は増加)	△54,718	△92,773
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△389,674	△102,623
未払金の増減額 (△は減少)	△4,220	37,909
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,219	△1,320
契約負債の増減額 (△は減少)	△5,565	11,518
その他	△56,855	△20,598
小計	△483,475	△138,132
利息及び配当金の受取額	14	13
利息の支払額	△5,056	△5,153
法人税等の支払額	△2,482	△43,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490,999	△186,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売買による収支	5,514	9,348
無形固定資産の取得による支出	—	△5,225
関係会社株式の取得による支出	—	△5,193
預け金の差入による支出	△50,000	—
敷金の差入による支出	—	△4,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,485	△5,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	27,000
長期借入れによる収入	278,800	150,000
長期借入金の返済による支出	△99,102	△167,502
配当金の支払額	△10,163	△33,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,534	△24,221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△515,950	△215,965
現金及び現金同等物の期首残高	2,976,831	2,659,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,460,881	2,443,617

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	570,907	200,529	771,437	—	771,437
その他の収益	8,807	203,520	212,328	—	212,328
外部顧客への売上高	579,715	404,050	983,765	—	983,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	579,715	404,050	983,765	—	983,765
セグメント利益又は損失 (△)	182,347	△116,447	65,899	△77,434	△11,534

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△77,434千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	665,668	103,164	768,832	—	768,832
その他の収益	9,441	220,393	229,834	—	229,834
外部顧客への売上高	675,109	323,557	998,667	—	998,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	675,109	323,557	998,667	—	998,667
セグメント利益又は損失 (△)	219,785	△125,370	94,415	△77,952	16,463

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△77,952千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。